

一面の症状に心あたりがあったら

対応のポイント

同じ話を繰り返す

数分前に話したことを忘れてしまい、不安感や確認のために、繰り返し話すことがあります。「何度も聞いているよ」と返答すると、ごまかしたり、話をとりつくりようもありますが、内心は不安な気持ちになっています。

対応

同じ話を繰り返しても、とがめるのではなく、何度も話を聞く姿勢で対応してください。

身だしなみが無関心になる

認知症になると季節や日付の感覚が無くなったり、意欲が低下することがあります。そのため、服装や身だしなみに変化が現れることがあります。

対応

目のつく場所に着替えを置いたり手渡しするよう、さりげない対応や興味がわく声掛けなどの工夫をしてみましょう。

物のしまい場所を思い出せない

財布や鍵などのしまい場所を忘れ、不安になり、部屋中を探る行為があります。認知症が進行すると被害妄想となり、誰かに盗られたのではないかと疑うようになることもあります。

対応

怒ったり、否定的な言葉をかけると逆効果となることがあるので、一緒に探したりする対応をします。

早期発見のメリット

- 早い段階から治療を開始することで、症状の進行が穏やかになったり維持したりすることが期待できます。
- 認知症状を引き起こす病気が見つかれば、治療が可能になります。
- 早い段階で認知症について理解を深め、さまざまな準備をすることができます。

気になることがあったら相談しましょう

かかりつけ医

かかりつけ医は患者の状態を熟知しています。認知症についても気軽に相談してみましょう。



高齢者サポートセンター

社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師などの専門職が、健康や介護の相談などの支援を行っています。お気軽にお問い合わせください。

センター名	所在地	電話番号	センター名	所在地	電話番号
国府台	国府台5-25-4	☎373-6539	真間	真間2-3-11	☎322-8811
国分	東国分1-27-18	☎318-5565	菅野・須和田	菅野6-18-21 ママセントラルハウス1階	☎326-7737
曾谷	曾谷5-13-4	☎371-6161	八幡	南八幡3-4-10 加藤ビル1階	☎376-3200
大柏	大町537	☎338-6595	市川東部	北方1-12-11 伊藤ビル1階	☎334-0070
	南大野2-3-19(大柏出張所内)	☎303-9555	信篤・二俣	高谷1854	☎327-3366
宮久保・下貝塚	下貝塚3-31-2	☎373-0763	行徳	本行徳5525-4 丸大行徳ビル2階	☎312-6070
市川第一	市川南1-1-1-209-6(ザ タワーズイースト2階)	☎700-5139	南行徳第一	香取2-2-2	☎359-6660
市川第二	大洲1-18-1(急病診療・ふれあいセンター2階)	☎320-3105	南行徳第二	日之出17-9 アルテ102	☎712-8022

※窓口受付時間 午前8時45分～午後5時15分 ※窓口業務を行わない日 土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

認知症初期集中支援チーム

認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症(疑いを含む)の方やご家族を支援するチームです。

●支援対象者

- ・ 40歳以上で、自宅で生活をしている認知症の症状などで困りの方
- ・ 認知症の診断を受けていないが、心配な方
- ・ 認知症の診断を受けたが、受診が途絶えている方
- ・ 介護保険サービスを受けていない、または中断している方
- ・ 認知症状で対応に困っている方

●支援内容

家庭訪問を行い、認知症の状態や生活状況に応じて、個別の支援方針を検討します。また、必要に応じて、医療や介護サービスの検討・調整のお手伝いをします。支援終了後はケアマネジャーなどの関係機関へ引き継ぎ、継続した支援を行います。

☎712-8519地域支えあい課

認知症講演会

テーマ:「最期まで安心して地域で過ごすために
—今私たちにできることは—」

日 10月30日(金)午後1時～3時

場 全日警ホール

人 市内に在住・在勤・在学の方100名程度

講 新井平伊氏(アルツククリニック東京院長)

申 ☎712-8519地域支えあい課



フレイル予防

年齢を重ね、筋力や認知機能、社会とのつながりといった心身の活力が低下した状態を「フレイル」と言います。

フレイルを予防・改善するために日常生活でできることをお知らせする、リーフレットや動画を作成しています。

(地域支えあい課)

